

西多摩医師会報

第218号 平成3年2月



白百合と果物 波田野洋夫

目次

| | 頁 | | 頁 |
|------------------|-----------|-----------------------|---|
| 1. 学術 | | 6. 文芸随筆その他諸事百般 | |
| 運動負荷心筋シンチグラフィの臨床 | | 「遂に湾岸戦争に突入」小泉新策 … 11 | |
| | | 近くなった中東を見る目 | |
| | | 近藤 肇 … 11 | |
| 2. 各部紹介 産業医部 | 唐橋善雄 … 6 | 7. 生涯現役 | |
| 3. 理事会報告 その1 | 広報部 … 6 | 回想録 その(二) 小泉新策 … 13 | |
| その2 | 広報部 … 7 | 8. お知らせ ……………… 14 | |
| 4. 新年賀詞交歓会 | 田代 洋 … 8 | 9. 医師会日誌 ……………… 16 | |
| 5. 福生病院登録医 (内科) | | 10. 表紙のことば 波田野洋夫 … 17 | |
| スケジュール | 道又正達 … 10 | 11. あとがき 真鍋 勉 … 17 | |

学 術

運動負荷心筋シンチグラフィの臨床

福生病院内科 哲 翁 弥 生

はじめに

近年、心臓核医学検査の発展はめざましく、特に断層シンチグラフィ (single photon emission computed tomography: SPECT) が導入されて以来、各種心疾患の早期診断、病態解明に重要な役割を果たしてきた。これは従来血管造影など侵襲的な方法や心エコー法などで間接的に推測することしかできなかった心筋の viability (=心筋が生きているかどうか) や心筋の血流状態をより簡便にかつ正確な直接的な情報を得ることができるという特徴をもつためである。そこで、虚血性心疾患の診断を目的とし、運動負荷試験を併用したこの検査の概要を述べる。

1. SPECT

まず SPECTについて簡単に説明する。従来のシンチグラフィは、体内に注入され臓器に蓄積した放射性同位元素 (以下RI) を体外のある一定方向から計測し、その分布を描写したものであり、いわば、臓器全体の情報を得るものであった (planar像)。これに対し、SPECT はシンチカメラを被検者の周囲を回転し、撮像を繰り返し得られた画像からX線CTと同様な画像再構成法の手法を用いて断層像を作成するものである。

2. 原理

現在心筋 SPECTに一般的に用いられている核種は、 $^{201}\text{TlCl}$ である。血中に投与された ^{201}Tl は5-10分後に全身に諸臓器に分布され平衡状態になる。(図1) この状態を初期分布 (initial distribution) という。運動負荷時には心筋血流量が増加するため、冠動脈病変がなく心筋細胞が viable、つまり生きている限り ^{201}Tl の集積は増加する。一方、冠動脈病変がある虚血部位ではたとえ心筋細胞が生きていても、血流は健常部ほど増加で

きないため ^{201}Tl の集積は相対的に低値となる。つまり、運動負荷直後の初期分布は心筋血流量を反映するといえる。その後、 ^{201}Tl は血管内と細胞内への移行を繰り返しながら体外へ排泄される。この際初期分布の多かった健常部位に集積した ^{201}Tl は大量に wash out されるが、 ^{201}Tl の分布が少なかった虚血部位では wash out も少なく、心筋細胞が viable であれば逆に細胞内に取り込まれることもあり、健常部との相対的な集積の差は消失する。

このような心筋細胞の viability を反映した ^{201}Tl の動態を再分布 (redistribution) という。以上に述べた ^{201}Tl の生態内動態を利用して運動負荷 ^{201}Tl 心筋シンチグラフィは、負荷時心筋像から心筋の局所血流量を、再び分布時心筋像から viability を診断するのである。つまり表1に示した通り、正常部位では、負荷像・再分布像共に正常であるが、虚血部位では負荷時に低下・欠損像を示し、心筋の viability が保たれていれば、再分布像は正常心筋と同様な像を得ることができる。一方、梗塞部位ではから負荷像・再分布像共に心筋細胞内の取り込みを認めない為欠損像となる。

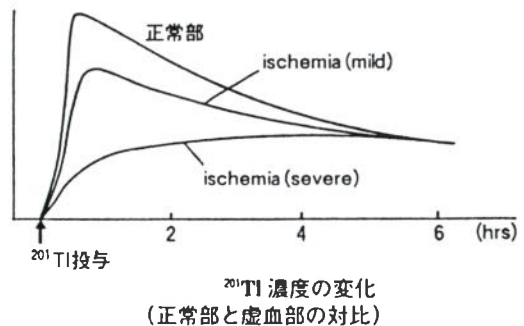


図1

3. 方法

当院で行っている運動負荷心筋シンチグラフィの方法を図3に示す。当院では、Dilsizian、Roccoらの方法に従い再分布像をより明確にするため1mCiの²⁰¹TlClの再注入法による検討を行っている。撮像は、正面、第2斜位60度、30度、左側面の4方向のPlanar像に引続き、断層撮影を施行。得られたデータをコンピューターにより長軸水平断層像、垂直断層像、短軸断層像へ再構成を行う。(図2)

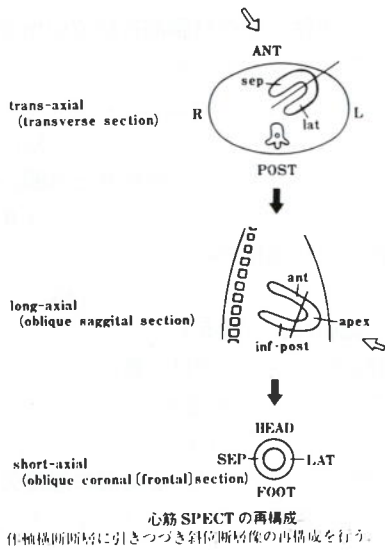


図2

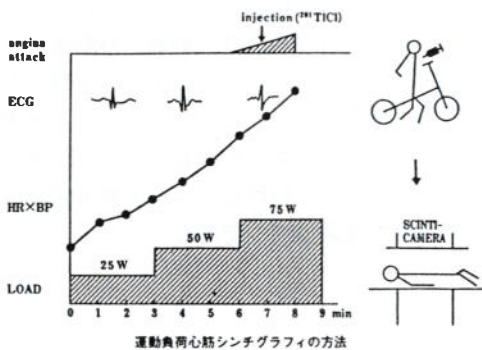


図3

4. 読影

基本的な鑑別点は、前途の表1に記した通りである。この他、具体的なポイントとして負荷時の還流低下、再分布時の分布の低下、

右室心筋の描出、肺野の取り込み、心内腔の変化等が挙げられる。(表2)又、²⁰¹Tlの欠損が認められる非虚血性心疾患には表3の様なものが挙げられ、慎重な鑑別が必要である。

²⁰¹Tl 負荷心筋シンチグラフィによる診断

| 心筋灌流 | 負荷像 | 再分布像 |
|------|-------|---------|
| 正常部 | 正常 | 正常 |
| 虚血部 | 低下~欠損 | 正常(再分布) |
| 梗塞部 | 欠損 | 欠損 |

表1

運動負荷²⁰¹Tl心筋シンチグラフィの読影のポイント

| |
|--|
| 負荷時の灌流低下 再分布時の分布の改善 右室心筋の描出 肺野のとり込み 心内腔の変化 |
|--|

表2

²⁰¹Tl欠損のみられる非虚血性心疾患

| |
|--|
| 拡張型心筋症 肥大型心筋症 サルコイドーシス 心筋炎 川崎病 |
|--|

表3

近年、断層像の分布・欠損を曖昧な視覚的な判断によらず、病変の広がりを定量的に評価する方法もいくつか考案されており、診断がより客観的にかつ正確に行うことが可能となりつつある。このうち代表的な表示方法として、Bull's eye法と、展開図法が挙げられる。前者は、短軸断層図を心尖部から心基部迄を同心円上に並べ、1枚の像から還流異常部位を判定するものであり、後者は心筋を縦切りに広げたもので病変の広がりの把握に適

している。(図4)

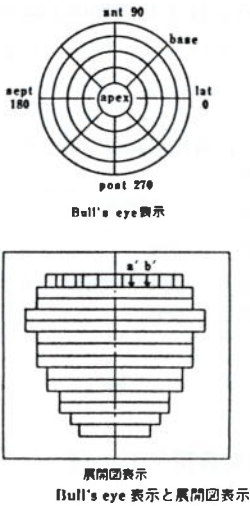


図 4

5. 臨床応用

心筋虚血を検出する上で負荷心電図と負荷心筋シンチグラフィの sensitivity と specificity を諸家の報告を総合して比較すると、負荷心電図がそれぞれ55%、78%であるのに対し、負荷心筋シンチグラフィ者がそれぞれ80%、87%とより有用な結果が示されており、狭心症を疑う症例におけるスクリーニングとして優れていることが明らかである。特に負荷心電図で胸痛を認める定型的でない症例あるいは逆に無症候性の虚血発作を起こす症例、心電図での虚血の判定が困難な症例に対し有用であるといえる。

表3、4に虚血性心疾患における負荷心筋シンチグラフィの適応を示す。

虚血性心疾患を中心とした負荷心筋シンチグラフィの適応

1. 運動負荷時における虚血の検出精度の向上
2. 虚血、梗塞部位の同定
 - 狭心症——high risk patients 検出
 - 心筋梗塞——リハビリテーションの設定
 - 梗塞後狭心症の同定
3. 外科、内科療法の決定
 - 冠動脈血栓溶解療法 (PTCR)
 - 冠動脈拡張術 (PTCA)
 - 冠血行再建術 (ACBG)

表 3

狭心症を疑う症例における負荷心筋シンチグラフィの適応

1. 心電図変化、高脂血症、家族歴を有し狭心症を疑う症例
2. 心電図変化が特異的でなく、胸痛を有する症例
3. 心電図変化を有し、胸痛が典型的でない症例
4. 心電図変化により虚血の判定が困難な症例 (左脚ブロック、WPW 症候群、左室肥大、ジギタリス使用中、ペースメーカー植え込み)
5. 心電図変化、胸痛を有する狭心症における虚血の部位、重症度評価

(心電図変化は負荷時におけるもの)

表 4

6. 症 例

55才、男性。労作時胸部絞約感の増悪を主訴に来院。不安定狭心症として転院加療中、心筋梗塞に移行。心電図上、異常Q波がV1-5に、又I、aVL、V4、5に陰性T波の出現を認め、前壁・中隔梗塞と診断。冠動脈造影を行った結果、#7 100%、#9 90%と前下行枝領域で高度な狭窄を認めた。負荷時心電図ではV4-5にてST低下(水平型)を認めた。(図5)

Planar像(図6)では、負荷時に前壁-中隔に灌流欠損を認めるが、再分布像では消失している。SPECT像(図7)では、負荷時に前側壁-前壁中隔-心尖部に灌流欠損を認め、再分布時に Filling in を認め残存心筋の viabilityを示唆された。つまり、閉塞部位以下が側副枝により灌流されていたため、梗塞部位の一部にviableな心筋が残存し、冠動脈形成術(PTCA)及び大動脈-冠動脈バイパス術(CABC)を行うことにより生き残った心筋の再梗塞から救うことが可能であると考えられる。本例は#7の閉塞部位に対し血管形成術(PTCA)を施行し、現在梗塞後狭心症も出現せず経過は順調である。

<Ergometer (H2.11.1 梗塞後)>

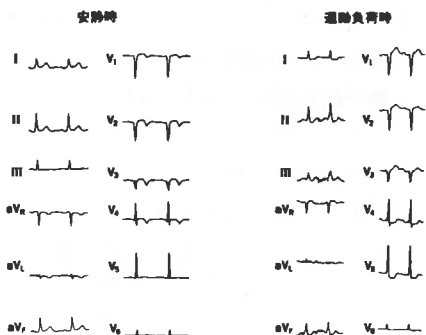


図5

<心筋 Planar 像 (H2.11.1 梗塞後)>

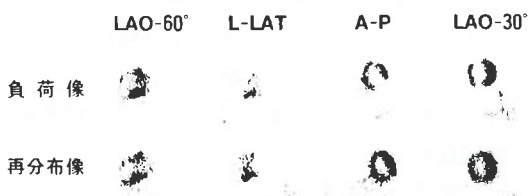


図6

<心筋 SPECT 像 (H2.11.1 梗塞後)>

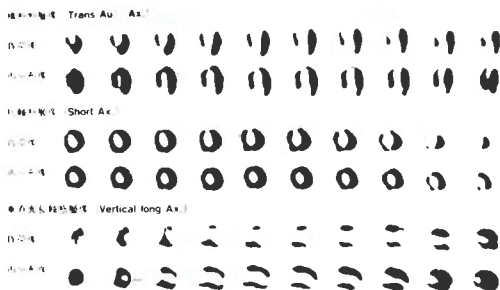


図7

おわりに

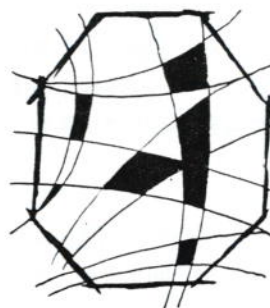
以上に述べたように、運動負荷心筋シンチグラフィが虚血性心疾患の診断および治療において極めて有用であることを紹介した。しかし、コストの問題や拘束時間が長いことなどの問題もあり慎重に症例を選択せざるを得ないだろう。

現在、最先端のレベルでは新しい核種の開発

や薬剤負荷により、心筋の代謝や受容体の情報、血管造影で描出されない微細血管病変などの検討が進められており、複雑な心筋虚血のメカニズムの解明がなされている。心臓核医学検査は今後も更に発展し、臨床応用されるだろう。

参考文献

- 1) 西村恒彦：心筋 SPECT図譜 永井書店, 1988.
- 2) 西村恒彦；植原敏勇, 林田孝平他：運動負荷心筋シンチグラフィ—その実際と臨床的意義—呼吸と循環, 31: 359-371, 1983.
- 3) Dilsizian V, Rocco T, et al: Enhanced Detection of ischemic but viable myocardium by the reinjection of thallium after stress-redistribution imaging. N Engl J Med 1990;323:141-146.
- 4) Diamond G :How accurate is SPECT thallium scintigraphy? (Editorial). JACC 1990;16:1017-21.



各部紹介

産業医部

部長 唐橋善雄

部員紹介

高木 直 野村有信
井村進一 森 和胤

現在定款改正の作業が進んでおります。産業医部は地域医療部に含まれる様な答申を受けております。産業医部としては、認定産業医についての紹介をすることは当部の大事な仕事と考えておりますのでこの紙面をおかりしまして述べさせていただきたいと思ひます。

「認定産業医について」

日本医師会は産業医の資質向上と地域保健活動の一環である産業医活動の推進を図るために、所定のカリキラムに基づく産業医学基礎研修を終了した医師、又はそれと同等以上の研修を終了したと認められる医師に日本医師会が認定医の資格を交付することになりました。

この制度は平成2年度より行っており、認定医証は5年ごとに更新されます。

基礎研修は、都道府県医師会又は複数の都道府県医師会が合同で行い、①入門的な前期

研修(14単位) ②実習見学などの実地研修(10単位)、③地域の特性を考慮した実務的、や、専門的総括的な後期研修(26単位)を行っています。受講した者は日本医師会より、「産業医学研修手帳」を交付され、これに単位を記載し、証明されます。

資格としては、1)新たに認定産業医の称号を申請する医師は前記の基礎研修を50単位終了していること。2)移行措置として、現在産業医として十分な知識と経験を積んだと認められる医師を新認定制度へ円滑に移行させる為に平成5年3月31日までの3年間の移行措置を行います。

主な対象者は、次の通りです。

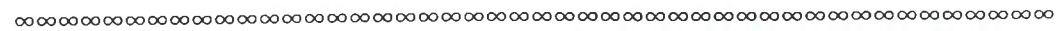
①平成元年度以前に日本医師会長から旧認定証を交付されていた医師

②日本医師会の産業保健モデル事業で行った研修を終了した医師

③申請時に産業医であって3年以上の産業医活動歴を有する医師

④申請時に産業医であって3年未満の産業医活動歴を有する医師

以上の医師に関して産業医(認定)の資格があり手続も、及び審査、登録に関しては医師会迄お問合せ下さい。



理事会報告

— その1

理事会報告 12月25日

恒例により管外理事会として立川南口入舟茶屋にて行われ、定款改正委員会(中村武先生、土田守一先生)副議長小林康光先生臨席をえて西村会長に答申書が手渡されました。

大河原周先生

(永年勤続30年以上)

大塚 渉先生(功勞)

3) 報告承認事項

入会会員について 林 理事
平成3年管外理事会について 林 理事

報告事項

- 1) 都医地区医師会長協議会報告(会長)
- 2) 都医師会第15回学校医大会(12月13日)
被表彰者 西村邦康先生(特別功勞)
小泉新策先生
(永年勤続30年以上)

理事会報告

— その2

1月定例理事会

平成3年1月21日(月)

議事録署名人 { 木村理事
唐橋理事

議題

1. 報告事項

(1) 都医地区医師会長協議会報告

西村会長

イ) 都医からの伝達事項

八王子市の国保通知ミスについて

ロ) 協議事項なし

ハ) 地区医師会からの報告

A) 新宿区健康問題協議会報告書について(新宿区における医療供給体制について) (新宿区医師会)

B) アレルギー性疾患調査について(荒川区医師会)

C) 江東区城東医師会休日急病診療所—最近十年間の診療状況(城東医師会)

D) 外国人就労者の未払い問題について

(2) 各市町村「社協」事務局長との

懇談会報告 松原副会長

12月27日(木)福生健康センターで医師会側より会長・副会長と在宅医療検討委員の先生方と九市町村の社協事務局長とで在宅ケア福祉がらみの懇談会が開かれ相互に理解を深めることが出来た。社協の組織も弱いので医師会からの側面援助の依頼もあった。

(3) 自治体首長代表との昼食会報告

1月14日(月)羽村町舎にて自治体側より田辺青梅市長 井上羽村町長と医師会よりは会長、副会長、林総務、道又学校医、大堀公衆衛生部長が出席来年度の市町村よりの報酬委託料等の合意事項確認を行った。

(4) 平成3年「新年賀詞交歓会報告」

進藤理事

(5) 五日市管内6・9検診事業

林 理事

五日市保健所保健婦による保健指導サービスが都合により中止することになった。

2. 報告承認事項

なし

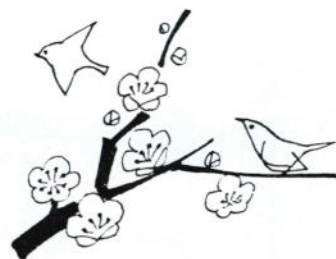
3. 協議事項

(1) 定款改正委員会答申について

(2) 平成2年度定時総会日程について

(3) 「医療懇」話題について

会場は2月2日(土) 青梅新町「芙蓉亭」



『新年賀詞交歓会開催』

1月19日(土)青梅市福祉センターに於て、平成3年新年賀詞交歓会が開催されました。国会議員、都議会議員、各市町村長、関係署長及び三医会からの各会長の方々、24名の御来賓と当西多摩医師会員を含め、総数78名の盛大な会合となりました。

野本先生の司会で、進藤福祉部長の開会の辞に始まり、西村会長の挨拶、御来賓の石川前防衛庁長官、田村、島田両都義、井上羽村町長、臼井秋川市長、西多摩推進協会長の田辺青梅市長よりの祝賀の御挨拶を頂いた後、唐木青梅保健所長の乾杯の音頭で開宴となり、更に祝詞は、各市町村長、西多摩歯科医師会長、福生警察署長、救急業務連絡協議会を代表して秋川消防署長から頂戴しました。その間には、プロのコミック演芸をはさみ、祝詞の後には当医師会の誇る池田先生のマジックの余興が有り、旨いワインとディナーと共に

楽しい一刻を過ごし、大塚前副会長の手締め、松原副会長の閉会の辞で幕となりました。

このたびの会合は、中東湾岸戦争勃発3日目の最中で、皆様の御祝詞の中に否応にも、この戦争に対する日本の対応の難しさ、又この戦争が経済面で地方行政にもたらす多大な影響等について触れられており、人命を預かる医師としては、早く平和的に解決される事を希求するばかりです。又、高齢化社会を目前して西多摩地域の保健、医療、福祉の充実一体化を押し進める上で、行政と医師会の協力が不可欠であり、各診療機関が個々に地域住民の医療に貢献するばかりでなく、オピニオンリーダーとしての医師会が、行政側から求められていると感じた御祝詞でした。良い年でありますように。

文責 広報 田代



交歓会スナップ



賀詞交歓会出席者名簿

| | | | | | |
|----------------------|----------------------|--------------------|-------------------|-------------------|----------------------|
| 瑞穂町長 関谷 久 殿 | 福生市長 石川彌八郎 殿 | 衆議院議員 石川 要三 殿 | 都議会議員 田村 市郎 殿 | 秋川市長 臼井 孝 殿 | 五日市町長 田中 雅夫 殿 |
| 奥多摩町長 佐久間藤一 殿 | 福生保健所長 川瀬 孝夫 殿 | 青梅市長 田辺 栄吉 殿 | 都議会議員 島田 久 殿 | 桧原村長 中村 正巳 殿 | 日の出町長 青木国太郎 殿 |
| 奥多摩消防署長 岡 宏 殿 | 西多摩歯科医師会長 鈴木 茂孝 殿 | 羽村町長 井上篤太郎 殿 | 青梅保健所長 唐木 一守 殿 | 五日市保健所長 赤谷 勇 殿 | 秋川消防署長 上田 聖弘 殿 |
| 福生消防署警防課長 高橋 茂夫 殿 | 西多摩薬剤師会長 村上 幹男 殿 | 福生警察署長 向井 泉市 殿 | 青梅警察署長 森下 千義 殿 | 顧問弁護士 鈴木 禮八 殿 | 青梅消防署警防課長 斎藤 佳治 殿 |
| 西多摩医師会副会長 松原 貞一 殿 | 小林 康光 殿 | 西多摩医師会長 西村 邦康 殿 | 後藤 伸 殿 | 土田 守一 殿 | 西多摩医師会副会長 足立 卓三 殿 |
| 池田 聖 殿 | 石井 好明 殿 | 星 和夫 殿 | 大塚 涉 殿 | 江本 虎雄 殿 | 田中 浩哉 殿 |
| 内山 大 殿 | 桂木 真 殿 | 大久保憲二 殿 | 平沼 俊 殿 | 大河原 周 殿 | 丸茂三千穂 殿 |
| 東 吉男 殿 | 鹿野 純一 殿 | 坂本 保巳 殿 | 平林 信隆 殿 | 塚本 光夫 殿 | 片平 潤一 殿 |
| 木野村幸彦 殿 | 秋山 静夫 殿 | 山田 忠義 殿 | 藤本 資尚 殿 | 福原 清 殿 | 石田 信彦 殿 |
| 林 実 殿 | 唐橋 善雄 殿 | 大堀 洋一 殿 | 小机 敏昭 殿 | 湯川 文朗 殿 | 藤野美美子 殿 |
| 大嶽 栄二 殿 | 栗原 琢磨 殿 | 野村 有信 殿 | 稲垣壮太郎 殿 | 玉木 一弘 殿 | 古屋慶之助 殿 |
| 進藤 淳 殿 | 明田川修生 殿 | 田代 洋 殿 | 真鍋 勉 殿 | 田村 啓彦 殿 | 青木 万紀 殿 |
| 野本 正嗣 殿 | 奥野 仁 殿 | 小林 杏一 殿 | 道又 正達 殿 | 木村 隆 殿 | 鈴木 智子 殿 |



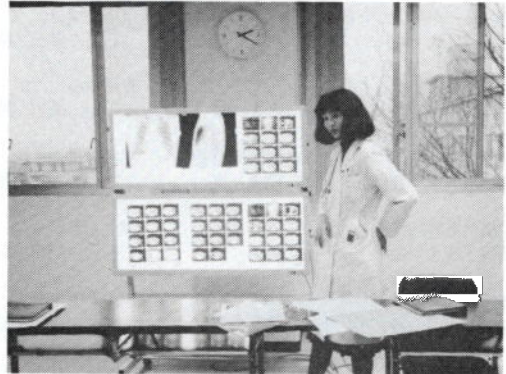
福生病院登録医研修（内科）スケジュール

昨年末、大久保院長先生より個人的に電話で依頼を受けました。登録医の病診連携について具体案が決まりました。本来ならば登録医の先生方に書面でお知らせしなければと心苦しい限りですが、会報を利用させていただきます。連絡責任者もハッキリ決められていませんので取敢えず私が勝手ながらレポート致しました。

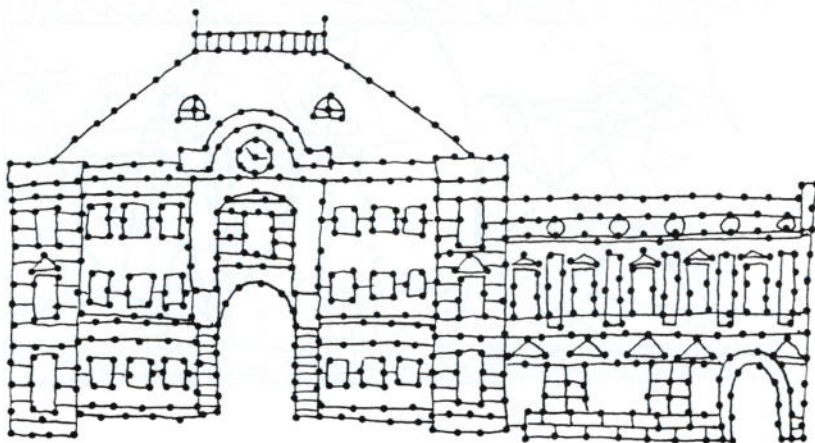
決定事項 平成3年1月21日（月）

- 1) 二ヶ月に一度は症例検討会を開業医の紹介症例を重点的に配慮してくださる。
- 2) 可能な限り事前に紹介医名、疾患名を連絡したい。
- 3) 隣組的な気軽さで院内を出入りして下さい。
- 4) 症例検討会 3月4日（月）午後1、30より 一時間程度 新館4F会議室
是非とも誘いあわせて多数登録医出席をお願いします。

追記 この決定に席を同じくなさった先生は院長先生と内科スタッフ成見、島井、篠原、中里、哲翁の五先生。
登録医 塩沢、松原、玉木、瀬戸岡の四先生と文責みちまたです。



写真は当日我々開業医グループも内科スタッフに混入して症例検討会に参加しました際の哲翁弥生先生の白衣姿です。



文芸随筆その他諸事百般

「遂に湾岸戦争に突入」

小泉新策

平成三年一月十七日 遂に湾岸戦争勃発す

米を先頭に圧力かけて期限を切り Iraqの私欲を 撓めんとす如くに

陸海空の 巨大なる勢力を蓄積し 圧力を日に加重しありしが

アメリカは我れの責務といきりたち 平和意の解決好まぬ悲しさ

戦争とは是非を越えて行動する残忍悲惨を 敢えてなすものなり

我国も国民の意見を絞りこみ 慎重に処すべく 戦争への協力を

朝鮮動乱、ベトナム アフガン何れを見ても 確呼たる根拠なくして發動せりなり

幾年をかけても纏れし処をほぐしつつ時機を 待つこと極めて大切

医療救護 大義名分たたざれば いたずらごと くに動ずべからず

#####

近くなった中東を見る目

近藤 肇

昨年8月に本会報に掲載された私の中東問題についての拙文が偶然にもIraqのクエート侵攻の湾岸の危機勃発と同時期ということもあったことから、編集長から何か感想を書くようのご依頼があった。私は中東問題に詳しいわけではない。日本にとっての死活問題である石油生産地の中東に関する国際報道例えば、Iran・Iraq戦争やパレスチナゲリラ、ハイジャック、PLO、あるいは日本赤軍などのニュースが多くの人がそうだと思うのだが私はサッパリ分らないでいたので、機会があって中東問題の講義を聞き、また参考書も読んだ。メジャーと称する石油の利権構造、アラブの国々の利害の相違、Islamの教理など問題はやっぱり分らない。会報に書いたのは自分に少し分ったことだけを書いてみたかっただけであった。だから会報に書く

ような感想などないけれど、書いてみる。日本と中東とは距離が遠い。理解できない理由は

- (1) 遊牧民族たるアラブ人とわれわれのよ
うな農耕民族とは発想が根本的に異なる。
 - (2) 一神教のIslamを理解出来ない。
 - (3) 中東の歴史的背景の知識の不足。
 - (4) 石油の利権構造のアラブ内外対立。
- 大体この4つを原因としてよからう。

今後の湾岸戦争が、毎日テレビで同じことが何回でも語られ解説され、いやでも中東の問題はわれわれの耳に入り込んできているので中東を見る目も近くなりつつある。

私は歴史はいつどのように転換するか分らないと、どちらかという平和への転換という希望的な意味を持って書いた。ソ連、東欧の変化による東西緊張の緩和があったからで

ある。

だが、今度の場合、サダム・フセインは、逆に、東西関係の変化により、イラクが有利になったと勇気づき自分がアラブのリーダーになろうとしたと見る事が出来よう。イラン・イラクは共に王政を打倒した国で湾岸の主導権を争う8年戦争をやっていた。そしてソ連は湾岸の警察であろうとしていた。イランと和平したあとイラクは経済的にピンチになっていた。アラビア半島に昔はクエートなんて国はなかった。自分の国は貧乏なのに隣の金持ち王様の国が羨ましい。不公平である。これが革命家サダム・フセインの考えである。クエート併合により自分の国のピンチを救い、国力をつけアラブの盟主になろう、王政は反時代的の国家体制である、国の富の格差も人民の富の格差もなくさなければならぬと彼は思うのだ。今や、ソ連はガタガタで他国のことまで手が回らない。サダム・フセインはアラブ、イスラム教徒を結集してイスラエルを滅亡させ西側を敵にしてでも中東でアラブ革命をやろうと決心した。エルサレムやメッカなどの聖地を奪回するのだ、自分は神の使徒だ、アラーの神よ、われわれは坐して死すよりアメリカと戦って死すとサダム・フセインは呼びかけている。アラブの問題はアラブで、という思想がアラブの根底にあり、反アメリカの芽は無くならない。

日本が第2次大戦から立ち直り奇跡の高度成長をなし遂げたのは、中東の石油があったからである。生産国中東では国際石油会社（メジャーズ）に利権を握られ、また石油の過剰はコストを安くした。クエート以外余り豊かでもないアラブに比して、アラブから受ける安い石油があったればこそ世界が羨む日本になっている。逆に中東の石油が無かったら日本の現在はないし今後生きてゆかれない。

アラブは言う権利があろう、「アラブの石油あつての日本ではないか、日本はアメリカに追従するな」と。

息子が永年アメリカのボストンにいる。親しくつきあっている隣の息子や現地法人の会社のアメリカ人の同僚の知人が戦地に行っている、ニューヨークに出張したらタクシーの

運転手に「お前は日本人か、金だけ出せばいいと言うのか日本人は、この戦争は日本のためにもなってるのだぞ」と文句言われた、隣の家族や会社のアメリカ人の同僚との語らいの中にもスッキリしないものがないでもないし商売がやりづらくなったなど、息子は急に本社でのミーティングが中止になったから帰らないと電話で言ってきた折に歎いていた。

イスラエルとアラブの戦いが、イスラエル開国と同時の1948年の第1次から1973年の第4次にかけての中東戦争として行われた。イラクの王政を倒したイラク革命は1958年、イランの王政に代るホメイニ革命が1979年、イラクのイランへの先制攻撃が、サダム・フセイン大統領就任翌年の1980年で8年戦争。イランとの停戦3年後には今度のクエート侵攻併合。大戦争とはなったが、行きつく先は対イスラエルである。

やはりイスラエル・パレスチナ問題がいつまでも中東の問題であるのである。

(1・21記)



生涯現役

回想録 その(二)

小泉新策

関東大震災は東京のみでなく京浜一帯に及び被害は正確に調査した資料はないので正確な数字で示すことは出来ない。東京は当時街路を自動車が行って居なかったため避難も容易であったが、今日のように街路という街路が自動車が続して走って居る時に、あの大地震動が起きたとすれば何百万が火の海に吞まれ焼かれることになるであろうか。消防活動も容易に出来よう筈もないので、被害の状態は想像を絶するものがある。想像するだけに恐ろしいことである。焼け野が原となった東京京浜の復活は意外に早かった。木造の假建築所謂バラック建てで、まだセメント工業が始まったのみで極めて簡単な建築様式が容易に奨められたもので二三ヶ月後には、あの広大となった焼け野ヶ原の東京がどうにか復活の緒についたのである。

学校もバラック二階建てで出来上り、十一月末には授業が始められたが、生徒の復帰が容易でなかった。私は同じ順天中学の本来三年生であったが、補欠募集があったので四年生に挑戦したが合格組に氏名で出て居た。四年に入学出来た。一ヶ月程経てから教頭に呼び出された。叱られるのかと心配して居たが、逆に激励されて四年を持続出来ることになった。この頃は既に軍事教練が盛んであった。毎土曜午後は近衛二聯隊の練兵場で現役の下士官が先導で將校(大尉)「鼬」(いたち)と渾名の鞭で遠慮会釈もなく殴りつけつつの訓練を受けた。一月の寒い日の午後例の練兵場で簡黙黙呼訓練があった。突撃に銃剣を着用してであったが剣が銃口に嵌まらなかった。つまり着剣不能であった。こんな光景が幾人もあって突撃の体形が後日問題になり私と友人二三名呼び出されて「鼬」に詰問された。銃剣の装着する部分の穴が餘りに正確すぎて居て極寒の練兵場で縮少して銃身に嵌められなかったことが新発見となって「鼬」先生始

めは怒ってたのが欠陥の発見で大得意に変わった。それもそのはず、朝鮮極寒地帯ではこのままでは使用に耐えぬ欠陥の発見となったからである。以後「鼬」先生鞭を餘り振り廻さなくなった。始め上京した時は陸士志願が第一目標であったが国際軍縮会議で日本も軍艦を減すこととなり、第二次會議では陸軍の兵力をも削減することとなり、任期中の現役將校が首になり学校の配属となって来た。私の学校へ予備にされた秋尾中佐が来て居て極めて温厚な人格者でした。後から来た大尉の

「鼬」は我武者羅もので中佐の指示をも無視することが多かった。他の教師の臨時休講の場合には必ず全員道場へ引っぱり出して銃剣術か剣道をさせられた。私は代用教員時代百姓の手伝ひの外、在郷軍人会の指導で剣道を習はされた。騎兵出の青年がよく指導してくれて居たので「鼬」の剣道は怖くはなかった。或時竹刀を落した我に目茶苦茶打ち込んで来たので組み打ちとなり素速く小手を抜いて相手の面を床へこづきつけ、動かなくなったので面をひねって脱して見たら息はしてるが口を利かず、手を放って立ち上って困惑した瞬間怒鳴り声が飛んで参ったと。これで軍教は何時も道場でだけは見学組になった。

西暦1910年から韓国は日本と併合『朝鮮』と改められた。そして以後自由に交通が出来、朝鮮兵と称して居た幾つかの陸軍の師団が内地よりの入営で出来上がっていった。内地の師団も一部解消して新たに制限を受けない飛行隊が出来て来た。関東大震災後の変遷の甚しかったことは、先づ中野までの電車が正十三年正月からは荻窪から發車となった、他は凡べて汽車、立川村が町に昇格、飛行場が出来た。セメント工業が急に盛んになって来た。それでも交通関係はまだままだであった。毎朝青梅街道も玉川から渋谷を通り赤坂に向う街道も毎朝牛車に野菜を積んで「糞便上

げ」の農民の牛車が行列をなしたものである。あの当時の光景、つまり都（府）民と世田ヶ谷、目黒、阿佐ヶ谷、練馬、荻窪の農民との関係は一带のもので成立して居たのであるが関東大震災を契機に疎開と云う言葉が活用されるようになったのである。震災後一時のバラツク景気は昭和に入る頃よりは愈、深刻となって来た。特に“全解禁”の後の急速の不況は甚しいものであった。例えば九段坂で車の後押し上げ2銭が行列した。到る処で街頭演舌があつて参集して聞き入る大衆で寒中でも足袋をはいて居る労働者は半数位であり、又地方でも大工や左官が急に需要高となった河川での砂利藪ひが三日目位たたぬと順番が来ぬ程仕事がなく一日砂利藪ひで20銭か、強

いもので25銭、甚しい不況時代を迎えたのである。全解禁の影響として政治的責任が問はれ、東京駅頭で浜口雄幸総理が狙撃され、又井上準之助蔵相が政談演舌会帰りに殺される。かく不況の打開されて行つたのが満州国開設へ向つての運動である。私はこうした極めて経済的に不況な時機に進学であった。学資の準備として植村三ヶ所を材木屋へ賣つた。この代金が手金のみで拂はれなかつた。水害によつてとのことである。又木炭が盆暮れ勘定の五日市取引きでは困るので五日市鉄道一車分 300俵を飯田橋の炭屋と約束して送つた店が火災で一文にもならなかつた。運の悪い時には仕方ない。

第11回西東京臨床糖尿病研究会開催のお知らせ

本研究会は、第一線の実地医家の生涯教育や病診連携の充実を目的として、昭和61年6月にスタート致しました。第11回の会合を下記の要領で開催致します。青梅地区では初めての開催ですが、多くの方々の御参加を期待しております。

腎臓病専門医から—青梅市立総合病院腎センター部長

栗山廉二郎 先生

(連絡先：青梅市立総合病院

内分泌代謝科 原 義人)

日時：平成3年3月9日（土）

午後3：00より6：00頃まで

場所：青梅市立総合病院 南館3階講堂

青梅市東青梅4の16の5

電話0428-22-3191

会費：¥1,000（1名につき）comedicalの方も歓迎します。

プログラム：

3：00～4：00 症例検討

データが不完全な症例でも遠慮せずお持ち下さい。

4：00～6：00 講演と質疑

テーマ「糖尿病性腎症状」

糖尿病専門医から—埼玉医科大学
第四内科講師

根岸清彦 先生



お 知 ら せ

3月（2月診療分）の
保険請求書類提出日

3月7日（木）

— 正午迄です。 —

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禮八先生による法律相談を
毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽に
ご相談下さい。

- ◎ 相 談 日 2月は13日（水）
 3月は13日（水）の予定です。
- ◎ 場 所 西多摩医師会館和室
- ◎ 内 容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、
 刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎ 相 談 料 無料（但し相談を超える場合は別途）
- ◎ 申 込 方 法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。

（注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

白百合と果物

可憐な白百合を見乍らキャンパスに向かっていると、ふと若き青春の日々を想い出した。

今は既に還暦も過ぎ、残された幾ばくかの人生を楽しく過ごし度いと願う今日である。

医師会の絵画部の先生とお互いに励まされて絵を道楽に大変感謝しているが、何時迄画けるか判らない此の道を、人生の一つの指針としてやって行き度いと思っています。

波田野 洋夫

暖冬とは言っても寒に入るとやはり平年並に冷え込む日が続く此頃ですが、いかがお過しでしょうか。

今月号は、ついに始った湾岸戦争について212号に中東問題を実にタイムリーに投稿された近藤肇先生にコメントをいただきました。長引けば長引く程日本にも影響が大きくなるだけに、早期に終結して欲しいものです。

また、文芸面で毎回投稿いただいております小泉先生に前回に引き続き今回も「生涯現役」コーナーに執筆いただきました。まもなく、80年を迎える西多摩医師会の歴史を知る上で貴重な資料と思います。

さて、定款改正委員会（委員長中村武先生）の答申書が、昨年12月25日の理事会に提出されました。現在、会報別冊として印刷中で、1月中には、会員の方々のお手元にとどく予定です。従来の定款と比べ、例へば理事定数や選出方法に変更があり抜本的な改正答申となっております。今後の医師会のあり方にかかわる重要な問題です。この機会に定款を手にならして、会員の方の忌憚のない御意見をお寄せ下さい。

3月号〆切は2月20日です。

(真鍋)

お詫びと訂正

会報別冊として発行しました定款改正答申書のP55、6行目の計12回は2回の間違いです。

ここに謹んでお詫びと訂正をさせていただきます 広報部



平成3年2月1日発行

発行所 (社) 西多摩医師会

東京都青梅市西分3-103

TEL (0428)23-2171(代)

会報編集委員 真鍋 勉

石井好明 小机敏昭 小林杏一

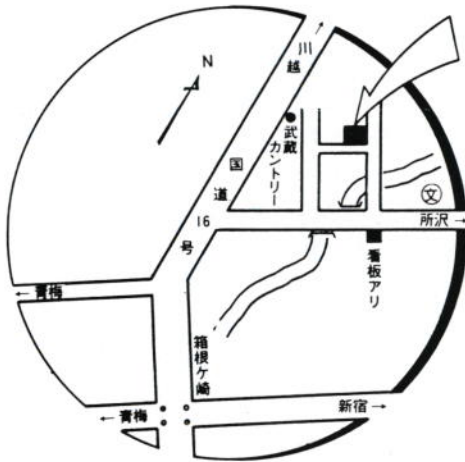
田代 洋 玉木一弘 堀田洋夫

道又正達 百瀬真一郎 渡辺良友

印刷所 マスダ印刷 TEL (0428)22-3047

期待と信頼にこたえて23年!!

検査のことなら武蔵臨床へ 電話一本緊急検査に応じます
学校、会社の集検にも御利用下さい



埼玉県登録衛生検査所

武蔵臨床検査所

所長 杉田 富徳

埼玉県入間市上藤沢339-1

TEL 0429 (64) 2621(代)

最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア

保健科学研究所

本社 〒240 横浜市長谷区神戸町106 TEL/045-333-1681(大代表)

仙台支社 〒983 仙台市宮城野区扇町1-3-5 TEL/022-238-9345(大代表)